

●山形市医師会在宅医療・介護連携室ポピー 事業計画

(2019年度)

(事業目的) 在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

事業項目(仕様書～)/目標	計画	
① 在宅医療・介護関係者の研修 /多職種連携の推進と地域多職種の スキルアップ	◆在宅ケア勉強会との合同研修(医師の実践事例)4月高橋邦之医師(前担当の白壁医師推薦)、10月べにばなクリニック斎藤医師(前担当の岡部医師推薦):フォーラムパネリストとしてお願い済み ◆済生館地域医療連携室と合同9月6日(又は13日)病院と地域の共通事例3事例 ◆精神保健福祉士協会と合同★ ◆医療・介護連携交流会8月1日19時国際ホテル	
	◆意思決定支援研修(シリーズ化) 対象:概論8月:ケアマネジャー、包括、医療関係対象、その後は事例を基にしたスタイルで実施予定(企画・運営長寿支援課と協働) ◆在宅医療・介護フォーラム10月10日(木)15時45分～講演(紅谷弘之医師)とパネルディスカッション	
	◆出張勉強会(地域の居住系施設及び訪問系事業所対象) テーマ:感染対策、認知症ケア、服薬支援、リハビリ、看取り	

<p>① 相談窓口 /在宅医療ニーズと連携の調整</p>	<p>従来の相談対応に加え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別地域ケア会議等で依頼あれば助言と調整 ・スキルアップのための職員受講 ・活動報告書（相談事例含む） 	
<p>② 医療・介護サービス資源の把握 /支援者の迅速な資源へのアクセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療情報検索システム更新を検討 ・3市相談窓口パンフレット更新（市と協働） ・ホームページからの情報発信：医療や介護等事業所訪問記事 	
<p>③ 住民普及啓発 /自分らしく地域で最期までの住民理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域包括支援センター等からの依頼に応じ住民講座の講師担当 ・ACP「人生会議」—最後まで自分らしく生きるために— ・医療や介護を含めこれからの自分の生活を考えよう→愛らんど圏域4ヶ所予定 ◆地域包括支援センターと共催での住民講座 	
<p>④ 課題抽出と対応の協議 /医療・介護連携4つの局面の中～ 焦点化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅医療 ・医師間情報交換の場設定 →9月25日拡大運営会議（在宅医療部理事、在宅療養支援診療所医師+α）※ ・在宅医療普及パンフレットの配布 ◆入退院支援：市と協働し、フローの実践評価やバージョンアップ、ホームページ改修 ◆精神領域 上記研修欄★ 	
<p>⑤ 医療・介護連携情報共有の支援 /ポピーねっとやまがたの普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポピーねっとやまがた登録者との情報交換会（普及について）10月下旬ころ ・出張説明会 	
<p>⑥ その他必要な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 5～6回/年 5月28日、9月25日（拡大）、11月26日、1月●日、3月●日（拡大） 9月25日拡大運営会議（在宅医療部理事、在宅療養支援診療所医師+α）※ ・各種連携会議等で在宅医療・介護に関する情報を発信 	

	<ul style="list-style-type: none">• 受講：職員スキルアップ• 講師：在宅医療・ケアの推進• ホームページからの情報発信• パンフレット増刷• 活動報告書作成（相談事例含む）• 医師会事務局との打ち合わせ 6月、10月、2月	
--	--	--